



社会福祉法人明世会

信愛医療療育センター



基本方針

重度の障がいがあっても、医療依存度が高くても、安心して暮らせるように

1. 多職種協働による最善の個別ケアを提供します。
2. 最新の医療を提供できるように研鑽します。
3. 家族や地域・社会のつながりを大切にします。
4. 笑顔あふれる療育と生活の場を提供します。

信愛医療療育センターを開設するまで

昭和61年に佐藤医院副院長として豊川市に赴任以来、在宅ケアに力を入れてきました。平成元年より訪問看護を無償で開始し(平成4年に診療報酬化)、平成3年には佐藤医院から医療法人信愛会 大石医院へ改組、平成10年には豊川市初の訪問看護ステーションを開設しました。平成11年には医師が複数となり、24時間365日の連絡体制と祝日・年末年始の外来診療・往診を開始しました。

医療依存度の高い方への在宅ケアとそれを支える施設ケアの重要性を強く認識し、平成13年6月豊川ビジョンリサーチの例会にて市内の医療、保健、福祉、行政、議会、NPO関係者等、百数十名の方々に集まっていただき、「医療依存度の高い高齢者も障がい児・者も受け入れる共生型福祉複合施設設立」の提言をし、社会福祉法人明世会の設立に至りました。

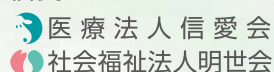
そして、母体である医療法人信愛会と社会福祉法人明世会が協力し、信愛グループとして、「どんなに医療依存度が高くてもことわらない」という理念の浸透と施設ケアの充実を図ってきました。

超重症児・者の主介護者である母親のレスパイトのため、平成22年6月から介護老人保健施設おとわの社で超重症児・者日中預かりを無償で始めました。平成23年には豊川市医療的ケア日中一時支援事業の指定を受け、その後、近隣市町から指定を受けました。

構想から16年の年月を経て、平成29年7月、医療型障害児入所施設であるこの信愛医療療育センターを開設することができました。

法や制度の隙間により、まだまだ支援が不十分な疾病・状態の方もいますので、信愛グループは、今後も「どんなに医療依存度が高くてもことわらない」という理念のもと、在宅ケアとそれを支える施設ケアの充実を推進したいと考えています。

信愛グループ



理事長 大石 明宣

入所・診療部門

当院は旧法の重症心身障害児(者)施設で、医療法の病院(64床)と障害者総合支援法及び児童福祉法の入所施設が複合したものです。

医療型障害児入所

在宅生活を送ることが難しい18歳未満の障がい児に対し、医学的な管理のもと食事・入浴・排泄等日常的な生活の支援を行いつつ、健やかな心と体の成長、機能向上を目指しつつ生活の場を提供しています。また、病院から在宅への移行訓練や母親の出産、保護者の病気療養時等に有期限入所として利用する事も出来ます。医療的ケアを必要とする超重症児(者)の受け入れも行なっています。

療養介護

18歳以上の障がい者に対し、医学的な管理のもと機能訓練、日常生活を送るための介護等の支援を行いつつ、日中活動、レクリエーション等の活動を通して生活の場を提供しています。ただし、市町村の支給決定を受けられた方が対象となります。

医療型短期入所(空床利用型)

保護者の事情(休息や疾病、急な冠婚葬祭等)、もしくは本人の社会生活上の経験等の為、空床を利用して短期間の入所を行い、医学的な管理のもと日常生活を送る為の支援を行っています。



病棟入口



リビング・食堂

日中活動やレクリエーション、食事をする場所となります。



機械浴槽

機械浴槽が2台あります。将来的には3台設置する設備が整っています。



病室

1人床と4人床があります



バルコニー

リビングよりバギーに乗ったままバルコニーに出ることが出来ます。

外来診療

重症心身障害児(者)を中心に、小児科・内科・リハビリテーション科の診療を行っています。一般診療の他、てんかん外来、代謝・内分泌外来、摂食嚥下外来などの特殊外来も行っています。

訪問診療

来院されることが困難な患者さんに対しては、主に重症心身障害または重度の知的・肢体不自由などの重複した障がいをもつ小児(15歳未満)を中心に強化型在宅療養支援病院として訪問診療を行っています。体調不良時には24時間365日対応しています。(夜間・休日は信愛グループの医療機関と連携して待機医師が対応します。)

リハビリテーション

入所、通所、外来の3部門でリハビリを行っています。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がそれぞれの専門性を生かし、一人ひとりの潜在能力を最大限に引き出し、生活の中での安楽な姿勢や動作が楽にできるようになること等を目的とします。障がいの程度も、歩行可能な方から医療的ケアを必要とする方までと多様です。

理学療法	<ul style="list-style-type: none">・成長に合わせた発達に対するアプローチ・車椅子や装具の相談・身体の緊張を緩めることで、日常を楽しく安楽に過ごせるような姿勢のケア・呼吸へのアプローチ
作業療法	<ul style="list-style-type: none">・遊びや活動を通して楽しみや興味を見つけていく・姿勢や環境にアプローチすることでより遊びやすくしていく・楽しめる工夫を一緒に考えていく
言語療法	<ul style="list-style-type: none">・発達に遅れがある方に対して何が苦手なのかを一緒に探していく・楽しく安全に食事が取れるようにアプローチしていく



リハビリ室



作業療法室



言語聴覚室

訪問リハビリテーション

医療依存度が高く呼吸器管理等のため外出や車に乗る事・移動手段の確保が難しい方や体調が不安定で通院や外出が困難な方に対して、

- ・呼吸が楽になるような呼吸介助の方法や自宅でのポジショニング
- ・介助方法の検討や自宅にある物を利用して家族負担の軽減
- ・必要な医療・福祉機器（車椅子・バギー・装具等）の検討
- ・在宅で楽しく安心して過ごすこと
- ・外出に向けた準備などのお手伝い 等

日常の生活の中での不安や悩みに対して一緒に検討・相談を行っています。

相談部門

信愛医療療育センター 相談支援事業所（指定特定・児童相談）

主に重度の重複障がいや、医療依存度が高い方を対象とし、本人、家族が安心して暮らせるように、福祉サービスの利用に必要な計画書の作成、利用調整だけでなく、必要な医療・保健・教育・福祉・地域等のネットワークを構築するお手伝いもさせていただきます。すぐには解決しない問題もありますが「寄り添う事」「聴く事」「真摯に向き合う事」を大切に考えています。

通所部門

信愛こども発達支援センター

●医療型児童発達支援(0歳～就学前)

就学前の身体の発達がゆっくりなお子さん、医療的配慮が必要なお子さんに対し母子通園を基本とし、医療的な配慮をしつつ健やかな心と身体の成長発達を促す療育を行います。また、家族への助言、相談等も行います。

●児童発達支援(0歳～就学前)

母子通園からスタートし、医療的な配慮をしつつ個別活動・集団活動の支援を通し、健やかな心と身体の成長発達を促す療育を行いつつ、家族への助言、相談等を行います。個別活動では自立に向けた活動を中心にを行い、就園・就学前のステップアップとして単独通園への切り替えを行なっていきます。

活動の様子



はじまりの会



誕生日会



食事



読み聞かせ



散歩



新聞遊び

●放課後等デイサービス(小学生～高校生)

学齢期の身体の発達がゆっくりな、もしくは医療的な配慮が必要なお子さんを対象とし、学校終了後、又は長期休暇等に生活能力の向上、社会交流、創作活動等を通し、機能向上や生活力の向上を目指しつつ、楽しい時間を提供します。

活動の様子



パラシュート



誕生日会



ハロウィン

生活介護めぐみ

重症心身障害者、知的障害を伴う身体障害者を対象とした障害福祉サービスの通所施設です。入浴、食事、排泄などの生活の支援、送迎サービス、レクリエーション活動、創作活動などの日中活動を提供しています。

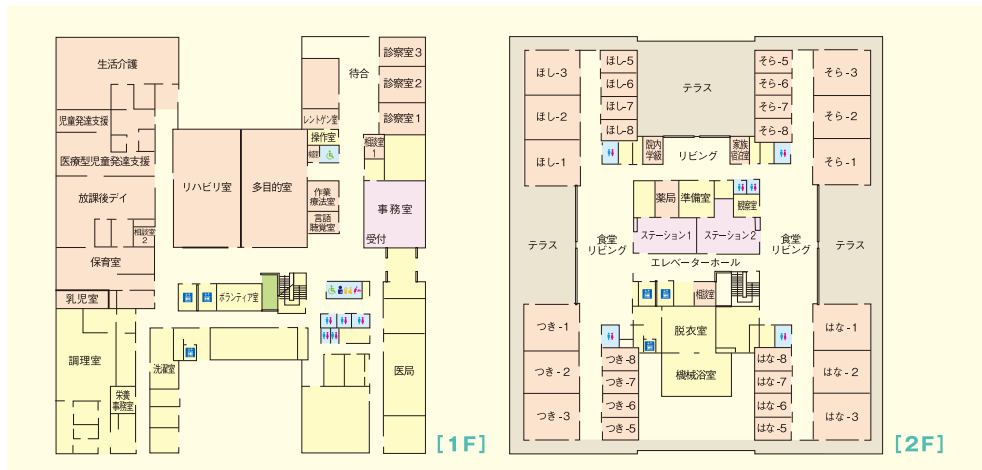


日中一時支援めぐみ

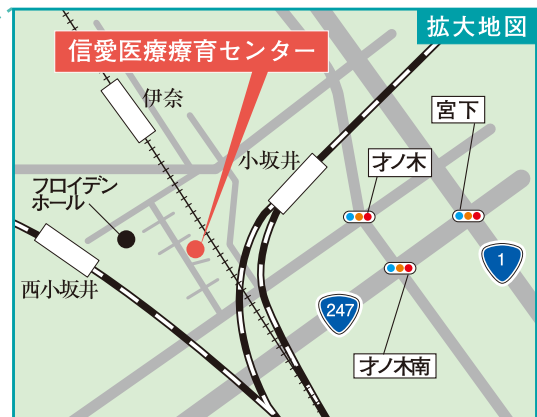
医療的ケアを必要とする重度の障がい児(者)(各市町の支給決定を受けた方)を対象に、利用者それぞれの個性を大切に、又、小さな反応やニーズを理解し、笑顔がたくさん見られることと共に、日常的に介護している家族の一時的な休息を確保出来るよう、スタッフ一丸となり笑顔で頑張っています。

施設概要

事業所名	信愛医療療育センター《強化型在宅療養支援病院》 [医療型障害児入所施設・療養介護] [医療型短期入所(空床利用型)] 外来診療・リハビリテーション 訪問診療
開設者	社会福祉法人明世会 理事長 大石 明宣
住所	愛知県豊川市小坂井町大塚38番地1
TEL・FAX	TEL:0533-95-0980 FAX:0533-72-3050
併設事務所	●信愛医療療育センター 相談支援事業所 ●信愛こども発達支援センター ・医療型児童発達支援 ・児童発達支援 ・放課後等デイサービス ●生活介護めぐみ ●日中一時支援めぐみ ●めぐみ保育室
施設規模	鉄筋コンクリート造り2階建て 延べ床面積4,033.92㎡



マップ



- 東名高速道路 音羽蒲郡IC 約25分
- 東名高速道路 豊川IC 約15分
- 名鉄本線 伊奈駅 徒歩 約10分
- JR 東海道本線 西小坂井駅 徒歩 約10分
- JR 飯田線 小坂井駅 徒歩 約10分